

失敗しない要求分析手法 1

—あなたもできる簡易版要求分析手法—

アブストラクト

1. プロジェクトの失敗と要件定義工程の関連

近年 IT システムに対する要求は多様化・複雑化してきており、要件定義がうまくできずにプロジェクトが失敗するケースが増えてきている。

そこで失敗事例をもとに要件定義で起きてしまう失敗原因を分析した結果、いくつかの共通した問題に集約されることがわかった。

- (1) 要件定義に必要なプロセスを実行しないまま要求分析を進めている
- (2) 要求を引き出せない、もしくは引き出し方が適切でない
- (3) 合意形成が十分にできていない

これらの問題を解決するため、これまでも様々な要求分析手法が存在してきたが、いずれも概念的なものであり、実務で利用するには非常に困難であった。

2. 研究アプローチ

そこで当分科会はプロジェクトの失敗リスクを最小限に抑える事を目的とし、誰でも容易に使いこなせる要求分析手法の研究・開発を行うこととした。

既存要求分析手法に対して、当分科会では以下の点に留意して研究を行った。

- (1) 解説の充実
- (2) 具体的なツールとサンプル（使用例）の提供
- (3) 検証の実施による有効性の裏付け

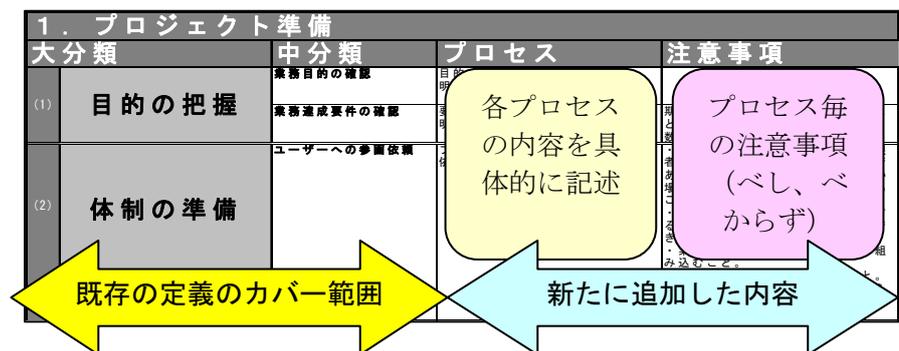
3. 「あなたもできる簡易版要求分析手法」の開発

- (1) あなたも使える要件定義プロセス一覧

要件定義作業を進める上で必要となるプロセス一覧を開発した。当分科会のプロセス一覧は、既存のプロセス定義で触れられていない各プロセスの内容と注意事項について具体的に説明した。

経験の浅い担当者でもこのプロセス一覧に則って作業することで、プロセス実施の漏れや重要性判断の欠如などが防げる（図表 1）。

図表 1 あなたも使える要件定義プロセス一覧

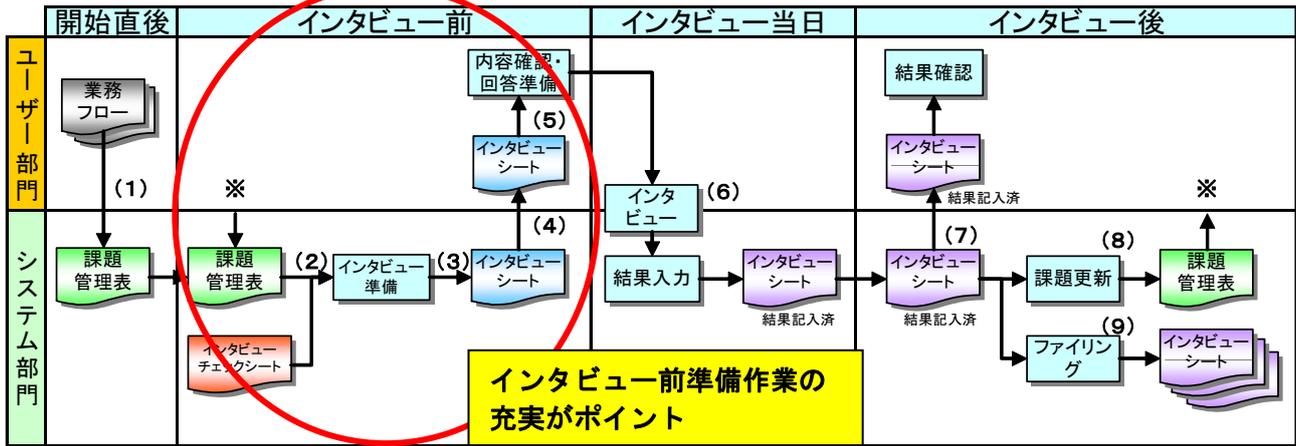


- (2) こうして使おうインタビューツール

当分科会ではこれまで曖昧にされてきた、要件定義作業を進める上で重要な、インタビューの進め方を表現した運用フローを開発した。

インタビューに関連する文書（①課題管理表、②インタビューシート、③インタビューチェックシート）を紐付けて要件定義工程での課題・要求を一元管理でき、インタビューの効率化や具体化が図れる（図表 2）。

図表2 インタビュー運用フロー



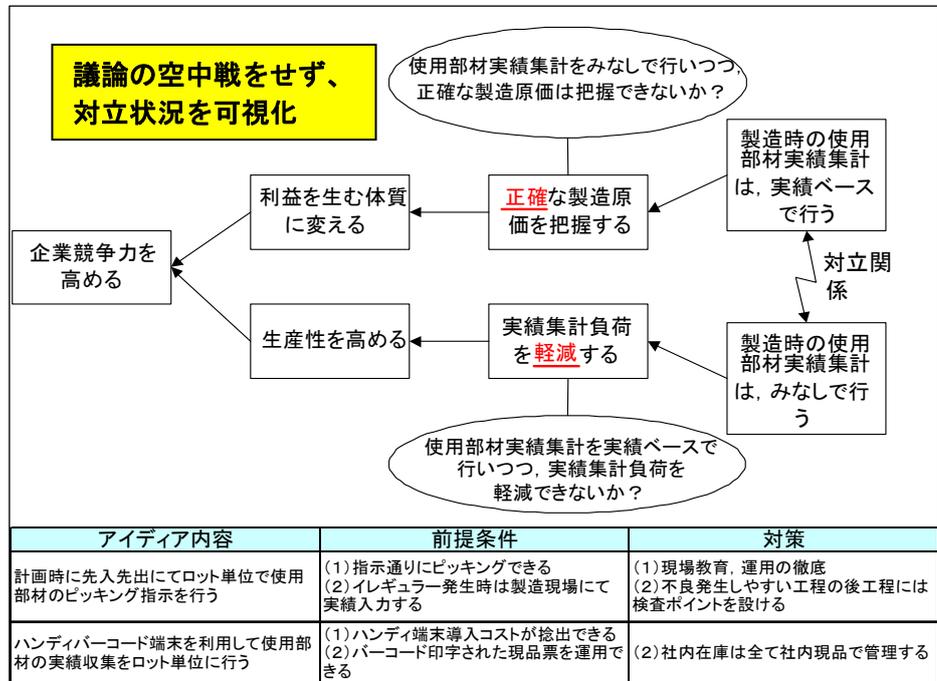
※課題管理表に記載されている課題項目が解決するまで(2)~(9)を繰り返す。

(3) みんなが納得するご意見調整表

要件定義作業を進める上で、相反する意見の対立がボトルネックとなり進捗の悪化や課題の先送りなどの深刻な事態を招くことがある。

当分科会では対立状況を可視化することでお互いの妥協点を探り、解決に導くアイデアを管理するシートを開発した(図表3)。

図表3 ご意見調整表



4. 有効性の検証

当分科会で開発した要求分析手法が当初の狙い通り誰もが使いやすく有効なのか、実案件及び過去の事例に適用した評価と有識者へのアンケートを実施して検証した(図表4)。その結果、既存の手法とは異なり、経験の浅い担当者でも使え、システム開発における主な失敗原因に有効に作用することが証明された。

図表4 有効性の検証

後工程で発生する課題の予防効果	60%
プロセス一覧を使ってみたい	97%
要求引き出しの改善効果	22%
要件調整時間の削減効果	40%

5. まとめ

従来の要求分析手法は、現実のシステム開発では実際には利用できないという欠点があった。

そこで我々は、要求分析手法の課題を解決し、システム部門の要員が容易に使いこなして IT システムの開発プロジェクトを成功に導くツールを開発した。

今後、当分科会で開発した要求分析手法を創意工夫しながら積極的に活用していただき、IT システム開発プロジェクト成功の一助になれば幸いである。